

ダスキン大阪中央工場見学報告書

なにわエコ会議環境教育啓発部会の環境を学ぶ学習会を実施しました。今回は建物の入り口に設置されていたり、いろん



ところで活躍しているマット、事業所や家庭の掃除で活躍しているモップ等の循環するシステム（レンタル）を採用しているダスキン大阪中央工場の再生システムを見学しました。

日時：2025年2月27日 10:00～12:15

場所：(株)ダスキン大阪中央工場

参加者：8人



ダスキンのレンタルシステム（説明、パンフレットより）

資源を大切に使う。ということでレンタル方式を採用。年間全国で約1億3,100万枚を供給し、リサイクルシステムで回収し、品質検査で不良品約290万枚（2.2%）を取り除き再利用に回し、残り1億2,810万枚を洗浄・加工し、取り除いた不良品290万枚分を新規追加しリサイクルにのせています。

使用済みのモップがキレイになるまで

①入荷・仕分け

お客さんの使用済みのモップは、お店からダスキン生産事業所へ運ばれ、洗濯しやすいように種類や色、サイズ別に分類されます。レンタルモップ商品は約100種類

②洗浄

大型洗濯機で洗浄、すすぎ、脱水と共に、吸着剤を付ける加工までしてしまいます。

排水処理はフィルターで、大きなゴミを取り除き(ごみは圧縮スラッシュとしてセメントの原料の一部として有効利用しています)、排水は薬品を使って汚れと水に分離させます。ろ過し、固形は上記のごみませて処理します。水は一部再生水として洗浄に使用します。他の水は試験をし、基準に満たして排水しています。

③乾燥

洗い終わったモップは洗濯機から自動的に乾燥機に運ばれて、温風で乾燥されます。

乾燥機から出る CO₂はモップを効率よく乾かし CO₂排出量を削減しています。

④仕上げ

ブラッシングマシンで乾燥したモップの毛をきれいに整えて、X線検査機で異物が入っていないか確認します。金属探知機でモップの中の小さい金属片とかが入っていないかを検査、金属検出器でモップの中の小さな金属返答が混じっていないかを検査排除します。種類ごとに袋づめをします。

⑤保管・ピッキング・出荷

仕上がったモップは保管され、随時注文数に応じて取り出され、お客さんに届けられます。

工場の安全・安心への取組

①環境にやさしい洗剤

洗剤は難解性物質（自然界で分解され難い物資）やP R T R対象物質の使用を極力抑えた環境にやさしい成分の物を使用、

②補修は有機溶剤を使用せずマット修理

部分の破損を復元する独自の修理技術を開発し、導入しています。

③低公害車で環境に配慮

モップやマットを運ぶトラックは、石油資源の消費削減と CO₂や窒素酸化物、すすなどの発生を抑えるため、低公害車の導入を積極的にすすめています。

設備

洗濯機・乾燥機 各 200Kg (7台)、100Kg (3台)、50Kg (1台)

